手軽にたんぱく質アップできるひと工夫

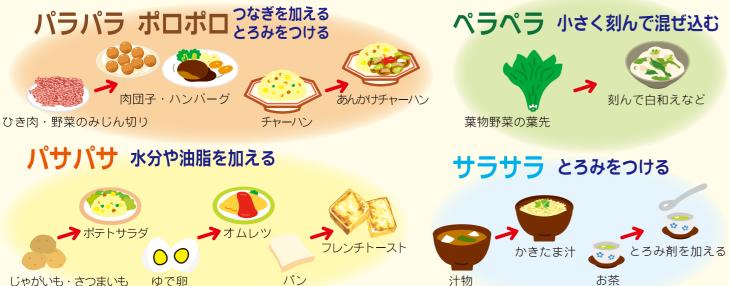
ド腎臓病などでたんぱく制限されている方は、 主治医や管理栄養士にご確認ください

たんぱく質をしっかりとることは、低栄養予防のために特に大切です。 いつもの食事に、たんぱく質を含む食品をプラスしましょう。



飲み込みやすくする調理のひと工夫

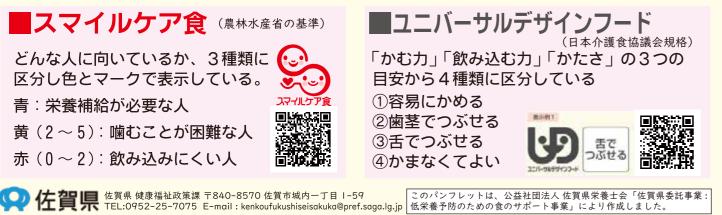
「パラパラ・ポロポロ」「ペラペラ」「パサパサ」「サラサラ」した食品は飲み込みにくいので、 切り方や献立を工夫しましょう。



飲み込みにくい、噛みにくいときの市販品の活用

ドラッグストアなどでは、「スマイルケア食」や「ユニバーサルフード」として、さまざまな形態 やかたさの食品(料理)が販売されています。

かたさや飲み込みやすさなどで区分されており、噛む力(咀嚼)や飲み込む力(嚥下)によっ て選ぶことができます。自宅での調理が難しいときや、自宅で調理したものと組み合わせて利用 しましょう。「とろみ」をつけたいときは「とろみ調整用食品」などの名称で市販されています。 また、市販品は災害時の備蓄食として活用できます。







シニア世代のからだの特徴は、糖尿病、高血圧などの生活習慣病も持ちつつ、フレイル(虚弱) やロコモティブシンドローム(運動器症候群)、サルコペニア(加齢性筋肉減弱現象)、骨粗鬆症で 転倒しやすくなっている可能性があります。

骨粗鬆症を予防する食事のポイント

「骨粗鬆症」とは、骨強度(骨の強さ)が低下して、骨折し やすい状態になることです。

骨の強さは、骨量の目安となる「骨密度」と骨の構造など「骨 質」の2つの要因によって決まります。

カルシウムが多い食品を意識して食べるとともに、カルシウ ムの吸収を助ける食品もとりましょう。

骨を強くする栄養素と多く含む食品

とりた	い栄養素とその役割	
カルシウム	新しい骨を作る原料にな ります	牛乳乳類 骨ごと食
たんぱく質	たんぱく質の一種である コラーゲンはカルシウム が骨につくのを助け、強 い骨を作ります	肉、魚、
ビタミンD	腸からのカルシウム吸収 を促進し、血液に入った カルシウムを骨まで運び ます	鮭、うな 卵など
ビタミンK	コラーゲンの働きを助け、 カルシウムの流出を防ぎ ます	<u>納豆、青</u> *ワーファ を飲んて

骨粗鬆症予防の5つのポイント

①骨を強くする食生活を心がける ②運動で骨に刺激を与える ③転倒しにくい筋力をつける ④日光浴をする ⑤アルコールやカフェインをとりすぎない

体重減少や筋力・骨量の低下は栄養不足(低栄養)も原因のひとつです。 "骨を強くする食品"とこだわらず、いろいろな種類を食べることも重要です。 食事を抜かないことや、毎食「主食」「主菜」「副菜」がそろった栄養バランスがよい食事をしましょう。 たくさん食べられないときは、まずは、「主菜」から食べましょう。



簡単にできる副菜レシピ

(1) あんかけコロッケまんじゅう



【材料】(4人分)	
コロッケ(そうざい)	4個
「めんつゆ(2倍濃縮)	大さじ2
│ │ 片栗粉 │ 水	大さじ1
【水	200 cc
1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.	

【作り方】
①コロッケをつぶして混ぜ、4つに分
け俵型に形を整える。
②鍋にめんつゆと片栗粉と水をあわせ
とろみがつくまで火にかける。
③②をコロッケと絡め、器に盛る。

大きさによってあんを加減してください。

(1人分) エネルギー 150kcal たんぱく質2.6g 脂質6.5g 炭水化物22.0g 食塩相当量0.9g







2 ピーマンと:	えのきのゆか	り炒め
	【材料】(4人分)	
	ピーマン	120g
	えのき	40g
	ゆかり(ふりかけ)	小さじ2
	油	小さじ2

ピーマンは炒めずにゆでてもおいしいです。

【作り方】 ①ピーマンはせん切りにする。 ②えのきは根元を切り、2~3cmに切る。 さじ2 ③フライパンに油を入れ、ピーマンを 先によく炒め、えのきを加え炒める。 ④ゆかりを入れ、混ぜ合わせる。



【材料】(4人分) 【作り方】 ①板ずりしたきゅうりを洗い、乱切り きゅうり 120 g にする。 トマト 100 g ②トマト、かにかまも食べやすい大き かに風味かまぼこ 60 g さに切る。 濃口しょうゆ 小さじ1 ③全ての材料をボウルに入れ、調味料 小さじ1 酢 を加えよく和える。 ごま油 小さじ1 ④味がなじんだら器に盛る。 ワンポイント! かにかまをサラダチキンやツナ缶に変えても楽しめます。

さつまいもとしめじのきんぴら

💿 ワンポイント!



【材料】(4人分)		【作り方】	
さつまいも	80g	①さつまいもは3cm長さの拍子木切	
しめじ	20g	りにして水にさらす。しめじは小房	
「オリーブオイル	小さじ1	に分ける。	
」酒	小さじ2	②耐熱容器にさつまいもをいれ、上に	
濃口しょうゆ	小さじ2	しめじを散らす。	
し砂糖	小さじ2	③②に調味料を加えよく混ぜ、レンジ で2~4分加熱する。	
🗑 ワンポイント! 電子レ	レンジの加熱時	して2 ¹⁰ 4 万加熱する。 間は様子を見て調整をしてください。	
(1人分)エネルギー 92kcal	たんぱく質1.0	g 脂質 1.2g 炭水化物 22.0g 食塩相当量 0.9g	

(1人分) エネルギー 28kcal たんぱく質 0.5g 脂質 2.1g 炭水化物 2.0g 食塩相当量 0.7g



16(4(少じ 大さじ 大さじ 少 少

60g 40g ♪々	【作り方】 ①里芋は皮をむき、食べやすく切りり でる。	ወ
2 ز	②コーンは水気を切っておく。	
4 ز 2 ز	③①②を調味料で和える。	
) 2) 々	④みじん切りのパセリをふる。	-
, i		

リンホイント!

冷凍里芋を使用すると便利 里芋の代わりにかぼちゃでも代用できます。 ハムやウインナーを加えてもおいしいです。 (1人分) エネルギー 139kcal たんぱく質 1.6g 脂質 10.8g 炭水化物 9.6g 食塩相当量 0.6g

⑦ 小松菜としいたけと大豆の辛子和え

and the second	【竹科】(4人刀)		【1Fリカ】
	小松菜	160 g	①小松菜はゆでて水にとり、水気を
and the second s	生しいたけ	20 g	絞って2cm長さに切る。
ARC	ゆで大豆	60 g	②生しいたけはトースターで焼き
than it.	「辛子(チューブ)	少々	(フライパンでもよい)、薄く切る。
	濃口しょうゆ	小さじ2	③調味料を合わせ、①②とゆで大豆と
	しだし汁	小さじ2	を和える。
	🗑 ワンポイント! 大豆	製品を加える。	とたんぱく質アップにつながります。
	(1人分) エネルギー 38kc	al たんぱく質 3	.3g 脂質1.5g 炭水化物3.4g 食塩相当量0.5g





*腎臓病などでたんぱく制限されている方は、 主治医や管理栄養士にご確認ください。

お弁当の一品としてもおすす

【作い方】

120 g	①キャベツ・わかめを一口大に切る。
60 g	②フライパンに油を熱し、①と桜エビ
7 g	を炒める。
いさじ1	③ボウルに卵としょうゆを混ぜ合わせ、
1個	②に入れ混ぜる。
さじ ½	④卵に火が通ったら器に盛る。

ワンポイント! わかめは、卵でとじることで飲み込みやすくなります。

(1人分) エネルギー 34kcal たんぱく質3.3g 脂質1.6g 炭水化物2.2g 食塩相当量0.5g

- 合わせ調味料をマヨネーズに変えるとエネルギーアップです。

(1人分) エネルギー 33kcal たんぱく 質2.4g 脂質 1.1g 炭水化物 3.6g 食塩相当量 0.5g

	【作り方】
200 g 100 g じ 1/2 600ml いさじ 1/6 いさじつま適量	 ①大根は皮をむき、5 cm 程の乱切り、 ベーコンは食べやすい大きさに切る。 ②ベーコン、大根の順に油で炒める。 ③水、調味料を加え、柔らかくなるま で煮込む。 ④器に盛りつけ、仕上げにねぎをのせる。
νを鶏肉や服 ょうをかけ	豚肉に変えても良いです。 てアクセントに!
こんぱく質3	4 g 脂質 11 3 g 炭水化物 2 4 g 食塩相当量 0 8 g